

令和5年度

教育行政執行方針

幕別町教育委員会

教育長 菅野 勇次

【はじめに】

令和5年第2回町議会定例会の開会に当たり、本年度の教育行政執行方針について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の5類に位置付けられ、3年余りに及んだ感染症との戦いが収束し、コロナ禍以前に戻るのではなく、アフターコロナに対応した教育活動が求められています。

また、少子化・人口減少、グローバル化の進展によって、様々な社会問題が存在する現代において、教育は変わる事の無い社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであるとともに、活力ある社会を維持していくため、その役割は益々重要となっております。

このような急激に変化する時代の中で、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を自覚し、お互いの理解、協力を深めることができるよう連携を図るとともに、町民の誰もが生涯にわたって、豊かな心を育むことができる文化・スポーツを振興するため、スポーツ交流や芸術・文化活動を支援してまいります。

以下、「第6期幕別町総合計画」基本計画第4章「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」の各節と第1章「協働と交流で住まいる」第3節について、本年度の主な施策について申し上げます。

1 豊かな人生を育む生涯学習の推進

はじめに、「豊かな人生を育む生涯学習の推進」についてであります。

町民が健康で潤いのある生活と豊かさを実感できる地域づくりを推進するためには、町民一人ひとりが生涯を通じて自ら学ぶとともに、その成果を生かすことのできる環境をつくることが重要であり、生涯学習は心にゆとりや潤いを与え、学んだことを生かすことで、個性が輝き、活力のある地域づくりに大きな役割を果たす

ことが期待されます。

このため、百年記念ホールや町民会館をはじめとする生涯学習の拠点施設のほか、札内コミュニティプラザや忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習施策を展開するとともに、一人ひとりの多様な個性、能力を生かせるよう学習情報の効果的な発信や地域の特性、年齢階層などを考慮した生涯学習講座等の充実に取り組み、生涯学習を通じた幅広い世代の交流を促進し、様々な学習機会を提供してまいります。

図書館では、令和5年度からの6か年計画であります「第4期幕別町子どもの読書活動推進計画」に基づき、幕別町のすべての子どもが様々な機会や場所で読書活動を行うことができるよう、地域全体で連携し、子どもの読書環境の整備を図るとともに、引き続き「図書館を核とした地域づくり」に取り組んでまいります。

また、本年度は、「第6次幕別町生涯学習中期計画」の最終年度となりますことから、町民ニーズの変化や課題を捉え、次期の計画策定に取り組んでまいります。

2 「生きる力」を育む学校教育の推進

二つ目は、「「生きる力」を育む学校教育の推進」についてであります。

社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、子供一人ひとりが創造性豊かに、たくましく生きていくためには、自律心や協調性、思いやる心などの豊かな人間性、問題を解決する資質や能力、そして健康、体力など「生きる力」を育むことが重要であります。

はじめに、「学校教育の充実」について申し上げます。

小中一貫教育の推進については、教育課程の充実として、町内児童生徒の学力の維持・向上を図るため、小中学校の協働による学園内の児童生徒の習熟度分析を行うとともに、各学園で教科や時数を具体化させた年間計画をもとに乗入授業を推進してまいります。

また、生徒指導の充実として、不登校への対応強化では、学園内で不登校が心配

される児童の指導計画を検討するなど情報共有を図り、保護者への働きかけを協働で行うことや、登校不安の解消のため、生徒指導の機能を生かした学習指導など具体的な取組を実施するとともに、保護者や外部機関との連携強化では、スクールカウンセラーや子どもカウンセラーによる、授業参観や校内生徒指導研修等への同席、PTA研修会での講話など、生徒指導のチームの一員として活用してまいります。

さらに、特別支援教育の充実として、進路を見通した、適切な目標設定と教育課程の編成のほか、小中学校担当者と保護者による面談や情報共有による支援方針や指導内容の点検、充実に努めるとともに、通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒の学習や学校生活を支援するため、小学校6校に36名、中学校3校に7名の特別支援教育支援員と、昨年度に引き続き、医療的ケア児を支援するため小学校1校に看護師1名を配置してまいります。

コミュニティ・スクールの推進については、各学園において、9年間で目指す児童生徒の資質、能力の育成について、地域に担っていただくことを焦点化するとともに、一体的に進めている「地域学校協働活動」については、既存の活動を整理し、教育計画などに具体的に位置付け、活動経過等の積極的な発信により、新たな活動に繋げるなど、「議論から実践」への流れを具体化し、地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

学校における働き方改革の推進については、校務支援システムの効果的な活用を通して、校務の効率化による教職員の事務負担の軽減を図り、業務の平準化や時間外在校等時間の縮減に努め、生み出された時間を活用し、児童生徒指導の充実や職能向上を図るとともに、引き続き学校事務補助員を小学校5校、中学校4校に1名ずつ配置してまいります。

また、少子化が急速に進展している中、存続が厳しい状況下に置かれている中学校の部活動は、その一方で、教師の長時間労働の主な要因の一つとも指摘されており、本年度から、本町の生徒にとって望ましい部活動の在り方や地域移行等について、「幕別町部活動地域移行検討委員会」で検討を進めてまいります。

次に、「学校給食」についてであります。

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしているところであります。

食の大切さや食文化などの教育を推進するため、栄養教諭を中心とした指導のほか、毎年協力をいただいている農協青年部との連携などにより、食に対する指導の充実に努めるとともに、地場産食材を活用した「まくべつの恵み給食」の提供を通じ、安心・安全で栄養バランスのとれたおいしい給食を提供してまいります。

次に、「教育施設の整備」についてであります。

令和2年11月に策定した「幕別町学校施設の長寿命化計画」に基づき、昨年度から札内南小学校の長寿命化改修工事に着手しており、本年度は、屋内運動場のほか、2階の普通教室や特別教室の改修などを実施してまいります。

また、次期対象施設として検討している幕別小学校校舎につきましては、幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方が大きく関わっており、先般、実施いたしました保護者アンケートの結果等を踏まえながら施設整備の方向性を早急に結論づけてまいります。

次に、「高等学校への支援」についてであります。

幕別清陵高等学校につきましては、本町の特色を生かした魅力ある教育活動をはじめ、社会に開かれた学校づくりが展開できるよう、これまでの各種学校活動等に対する支援に加え、道内外の大学の教授による出前授業や学生との交流を通して、学習に対する考え方や自主的・主体的な生徒会活動、地域貢献について学ぶことで、地域への誇りと愛着を持ち、地域の未来を担う人材を育む高校となるよう支援に努めてまいります。

昨年、開校10周年を迎えた中札内高等養護学校幕別分校については、町内の福

社関係団体や経済団体等で組織する「地域協力会」と連携しながら、引き続き就労促進につながるよう支援してまいります。

3 青少年の健全育成の推進

三つ目は、「青少年の健全育成の推進」についてであります。

次代を担う青少年が豊かな人間性を育み、自他ともにかげがえのない存在であることを認識するとともに、社会の一員として自覚し、自ら進んで社会参加ができる健全な社会人として成長するよう、学校・家庭・地域などが連携して青少年の健全育成を推進することが必要であります。

このことから、郷土への愛着を育み、心豊かな人づくりを目指し、自然体験や郷土幕別の歴史など幅広い学習機会を通して、心身の健全な育成を図るため、「ふるさと館ジュニアスクール」や「学び隊」などの事業を継続してまいります。

また、家庭、地域、関係機関の連携を図り、子供たちを守り育てていく活動を推進し、幕別町PTA連合会や幕別町児童生徒健全育成推進委員会のほか、子ども会などの活動を支援するとともに、未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。

4 芸術・文化活動の振興

四つ目は、「芸術・文化活動の振興」についてであります。

音楽や美術、演劇などの芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらす心豊かな生活を送るために欠かすことのできないものであり、その果たす役割は極めて重要であります。

このため、百年記念ホールの指定管理者であります特定非営利活動法人まくべつ町民芸術劇場と協働・連携を図り、優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会を提供するとともに、本年度は、施設の老朽化対策としてホール屋外通路部分雨除け

設備のコリドールとプラザイベント広場のベンチの改修工事を実施してまいります。

5 歴史的文化の保存・伝承

五つ目は、「歴史的文化の保存・伝承」についてであります。

本町の歴史的・文化的資源である郷土文化資料と、その情報を町民共有の財産として次世代に引き継ぐため、町民の皆さんが郷土文化資料を通じ、身近に先人の苦労や豊かな知識に触れ、特に次代を担う子供たちがふるさとへの新たな思いを養い、幕別町への愛着と誇りを育む事業の展開が重要であります。

このため、ふるさと館や貴重な全身骨格を展示しているナウマン象記念館のそれぞれの特長を生かし、郷土の歴史や文化等を学習する場としての活用を図るとともに、令和6年度に着手する保存改修工事の準備により、4月に閉館した蝦夷文化考古館の展示資料を有効活用するため、ナウマン象記念館や百年記念ホールで開催予定のアイヌ文化講演会に合わせ、移動展示を開催してまいります。

また、ナウマン象記念館の展示物については、開館から35年が経過し、近年の研究成果などで化石発掘当時の学説が変わったことから、現在の学説に沿って解説パネルや一部の展示を変更する改修工事を行うとともに、映像コーナーなどの機器類の更新工事を実施してまいります。

さらに、幕別町アイヌ施策推進地域計画に基づき、令和6年度に施設の建設を予定している生活館棟の実施設計のほか、木彫や刺繍などのアイヌ文化体験講座、アットゥシ製作技術体験講座等を実施するため、幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会などの関係団体と連携を図りながら進めてまいります。

6 健康づくりとスポーツ活動の振興

六つ目は、「健康づくりとスポーツ活動の振興」についてであります。

本町では、札内スポーツセンターや農業者トレーニングセンターなどの屋内施設と屋外施設である陸上競技場や野球場、町発祥のコミュニティスポーツであるパークゴルフ場など数多くのスポーツ施設を設置しておりますが、多くの町民の方が気軽に利用できるよう維持管理に努め、体力づくりや健康維持のため利用の促進を図ってまいります。

また、住民の方の健康寿命延伸のため、継続したスポーツの取組を目的として、従来から開催しておりますパークゴルフ家族大会や町民親睦パークゴルフ大会のほか、リフレッシュ教室やパラスポーツ体験教室などの各種教室、スポーツ大会の更なる周知を図るとともに、事業の推進に努めてまいります。

さらに、幕別町応援大使や日本体育大学など、関係機関等と協力・連携を図り、子供の運動・スポーツを支えるための講演会やオリンピックの学校訪問のほか、応援大使とのイベントや大学のスポーツ合宿誘致事業などを実施し、アスリートと創るオリンピックの町創生事業を展開するとともに、町民ニーズの変化や課題を捉え、第1期幕別町スポーツ推進計画の次期計画の策定に取り組んでまいります。

7 国内交流や国際交流の推進

最後に、「国内交流や国際交流の推進」についてであります。

国内交流につきましては、次世代を担う人材を育成するため、埼玉県上尾市、神奈川県開成町及び高知県中土佐町と小学生の派遣・受入れの相互交流を毎年実施しております。

コロナ禍の影響を受け令和2年度から2年連続で中止いたしましたが、4年度は中土佐町と派遣、受入の相互交流を再開し、本年度は、開成町と中土佐町からの受入を実施することに加え、本町からも上尾市に児童10名を派遣するよう準備を進めてまいります。

また、国際的視野を広め将来国際社会に貢献できる人材を育てることを目的とし

た海外研修事業については、受入校であるメルローズハイスクールと協議が整い、本年度は、中学2年生16名、幕別清陵高等学校1年生3名、合わせて19名をオーストラリアのキャンベラ市へ派遣し、翌6年度からオーストラリアからの生徒の受入を再開することといたしましたので、派遣、受入体制に万全を期してまいりたいと考えております。

【むすびに】

以上、令和5年度教育行政執行に当たっての基本方針を述べさせていただきました。

地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、新型コロナウイルス感染症のパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻など、先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代を生きる子供たちが、自らの可能性を発揮し豊かな人生を切り拓くことができるよう育んでいくことが重要であります。

教育委員会といたしましては、町民の皆さんが生き生きと学び続けることができるよう支援するとともに、子供たちが豊かな創造力を備え、たくましく成長していくことができるよう、学校・家庭・地域をつなぐ教育行政の推進に全力で取り組んでまいり所存であります。

議員の皆さん並びに町民の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、教育行政執行方針といたします。